

20世紀後半の北海道開拓に活躍した国産プラウ

| | | | |
|-------|------------|------|-----|
| 登録番号 | 第 00237 号 | | |
| 登録年月日 | 平成29年9月12日 | 登録区分 | 第一種 |

| | |
|--------------|--|
| 名称 (型式等) | 上下反転自由プラウ 1頭7分曳 |
| 所在地 | 北海道空知郡 土の館 |
| 所有者 (管理者) | 所有者：土の館 管理者：スガノ農機株式会社 |
| 製作者(社) | スガノ農機株式会社 |
| 製作年 | 1952年 |
| 初出年 | 1952年 |
| 選定理由 | 20世紀後半の国産畜力プラウ開発最初期のリバーシブルプラウである。1頭7分曳とは1行程で耕す幅（耕幅）が約26cmであることを表す。傾斜耕地で重要な表土流亡防止のための等高線耕作で、右左どちらの向きに進んでも耕土を高い方に反転できるように左右両方のボトムユニットを装備し、深浅や幅、運搬へ自在に対応できた。畜力牽引に配慮するために土壌の付着を防ぎ牽引抵抗を減少させた撥土板（モールドボード）で、傾斜20度以上の耕地での上側への完全反転ができた。当時の開拓に資すると共に、その後のプラウの高機能化や大規模化への技術開発の発展に貢献したものとして、重要である。 |
| 登録基準 | 二一イ（国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの） |

| | |
|--------------|--|
| 公開・非公開 | 公開 |
| 写真 |  |
| その他参考となるべき事項 | |